

図書館だより

開館時間（共通）9：00～17：30

☎ 中央図書館 0558-76-5566

☎ 葦山図書館 055-949-8605

URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>



今月のおすすめ

一般

【中央】
【葦山】



恋ふるむ鳥は
澤田瞳子／著
毎日新聞出版

万葉の歌人・額田王、激動の半生。大海人王子と別れ、妻や母としてではなく、一人の人間として、歌詠みとして生きる道を模索するも、大海人の挙兵で運命は一転する。

一般

【中央】



道
白石一文／著
小学館

娘の交通事故死、自殺未遂を繰り返す妻。もう、あれを試すしかないのか。高校時代、失意の功一郎が目にした一枚の絵。気づけば娘の交通事故直前の交差点にいた。

一般

【中央】
【葦山】

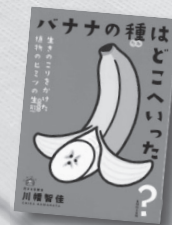


鎌倉北条氏の女性たち
今井雅晴／著
教育評論社

尼将軍・政子、頼朝の娘・大姫、義時の妻・姫の前、時政の妻・牧の方。鎌倉幕府150年の歴史の中で、北条氏と共にあった17人の女性たちの生涯を描く歴史書。

児童

【葦山】



バナナの種はどこへいった?
川幡智佳／著
実務教育出版

競争し、共存しながら生き残るための生存戦略を持っている植物たち。形、仲間の増やし方、においや毒。なぜ？どうして？と考える目の付け所と知る楽しさを紹介する。

新着本コーナーから

一般

セカンドチャンス

一般

墜落

一般

明日へのペダル

一般

女性の覚悟

一般

飛び立つ季節 一旅のつばくろー

児童

本を読んだら散歩に行こう

児童

宇宙食になったサバ缶

篠田節子／著 【中央・葦山】

真山仁／著 【中央・葦山】

熊谷達也／著 【中央・葦山】

坂東眞理子／著 【葦山】

沢木耕太郎／著 【葦山】

村井理子／著 【中央】

小坂康之・別司芳子／著 【中央】

9月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	⑩
11	⑫	13	14	15	16	17
18	⑬	20	21	22	23	24
25	⑭	27	28	29	⑮	

○ 中央休館日
◇ 両館休館日

□ 葦山休館日
☆ おはなし会

9月のおはなし会

中央図書館 10日（土）11：00～
葦山図書館 10日（土）11：00～
24日（土）11：00～
※事前申し込み不要

くぬぎ会館こども広場
15日（木）10：10～
※予約制 ☎ 0558-76-1346

お知らせ

葦山図書館は、特別整理期間のため休館します

本、雑誌など、すべての所在を確認するために必要な休館です。期間中はご不便をおかけしますが、ご了承ください。

休館期間／
9月27日（火）～30日（金）

休館前から書庫の本など、一部ご利用いただけない場合があります。詳しくは職員におたずねください。
中央図書館は、27日（火）～29日（木）は通常どおり開館します。どうぞご利用ください。

文化財通信

その207

鎌倉時代だけではない！

伊豆の国市各所に散らばる至宝

第6回 長岡中学区〔その3〕

☎ 文化財課 055-948-1428

長

岡中学区第3回は島橋古窯跡群を紹介いたします。この窯跡群は花坂にあります。長岡中学校から南西へ約350m、谷の中に位置し、時期は奈良時代から平安時代と推定されています。市内には他に牛ヶ洞・屋敷台・窯の壇・四反畑・戸沢にも窯跡があり、長岡付近は古代伊豆国のなかでも窯業が盛んな土地でした。

この島橋古窯跡群では須恵器や瓦が生産されていました。図1は窯構造の模式図です。窯は山・丘陵斜面などに設けられ、材料となる粘土は、近隣地で採掘されたと考えられます。粘土の塊は、窯の工人たちによりうつの形に整えられ、窯の焼成部に並べられました。そして焚口から燃焼部にかけて薪を積み置いた後に着火、高温で焼き上げます。煙突効果も相まって、炎は登るように窯の中を広がり、煙は排煙口から出されます。また焚口前には作業場となる前庭部、灰や失敗作が投棄された灰原（物原）が認められます。従って、窯跡から出土する須恵器や瓦は全て失敗作です。

今号で注目するのが、この窯跡から出土した須恵器の壺（図2）です。一見、徳利のように見えますが、用途は兵士の水筒説、堅魚煎汁（カツオの煮出し汁を煎じ詰めて濃縮させた液体。古代の調味料）入れ説、仏前に供える花瓶説などいろいろあります。この壺は大きな焼き損じが認められないのですが、工人たちはこれを失敗作と判断・廃棄したようです。彼らの判断基準は、焼き歪みや割れの有無、そして焼成不良などが考えられます。この壺は計画より軟質に焼き上がったしまったのでしょうか。さて、これら須恵器や瓦は、粘土と炎と工人たちの格闘の賜物です。くしくも江川田庵公の反射炉では、炎と銑鉄と工人たちにより良質な鉄を作り出しました。島橋古窯跡と反射炉はその構造も目的も時代も全く

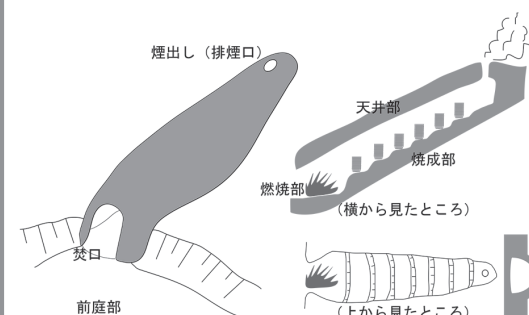


図1 窯構造の模式図



図2 島橋古窯跡群で出土した徳利のような壺

異なりませんが、高い温度の操作・調整は共に同じ。良いものを作ろうと試行錯誤を繰り返した工人達の息遣いが聞こえる至宝が、この伊豆の国市にはあります。

※伊豆長岡庁舎1階ロビーにて、長岡中学区の遺跡から出土した遺物の展示をしています。ぜひご覧ください。